

トイレを気軽に使っ てね!

店舗に絵文字で表示

NPOなど 横浜でスタート、賛同店募る



店頭に貼られたオープントイレマーク＝横浜市中区元町3のタカラダで

「トイレ、気軽に使っ
てください」。店舗
の入り口に絵文字で呼
びかけるステッカーを
貼ってもらい、誰もが
トイレに困らず観光を
楽しめるまちづくりを
目指す取り組みが、今
月から横浜市でスタ
ートした。題して「OP
EN Toilet
Project」。プ
ロジェクトに取り組む
NPO法人「Check
k（東京都世田谷区）
と大川印刷（横浜市戸
塚区）は「街の活性化
につながる」と呼びか
け、賛同店を募ってい
る。

Checkは、体の
不自由な人も使いやす
い多機能トイレがどこ
にあるかをウェブサイ
ト上で紹介する「Ch
eck A Toi
let」

et」 (<http://www.w.checkatoilet.com/>)を運営。一方、大川印刷は昨年、横浜で開催されたアジア太平洋経済協力会議（APEC）で外国人にも使用食材が一目でわかるピクトグラム（絵文字）を広めたことで知られる。

黄緑色のステッカーは「オープントイレマーク」と名付けられ、登山中に「用を足す」ことを「花を摘みに行くと表現することから、花とトイレマークを組み合わせたデザイン。多機能トイレの場合、①車いす対応②ベビーチェア付き③オストメイト（人工肛門や人工ぼうこうを使う人）対応—であることが、ピクトグラムで判別できるように工夫されている。

トイレを提供できる店舗は800円でステッカーを買い、店頭に表示。購入した店はプロジェクトのサイト (<http://www.open.checkatoilet.com/>)に掲載されるほか、多機能トイレだと、ネット上の地図サービス「グーグルマップ」などにも表示され

る。
この取り組みは財団法人「横浜観光コンベンション・ビューロ」の認定事業に選ばれ、観光スポットとして人気の元町、中華街、山下町の3地区の賛同店には1年間、ステッカーを無料配布する。現在のところ、協力しているのは3地区の9店舗・施設。大川印刷の大川哲郎社長は「来店機会につながるので、お店そのものや

商品・サービスについて知ってもらう機会になるエリアビル。「多くのお店に賛同いただくことで、街ぐるみで『おもてなしのまちづくり』が進み、活性化につながるれば」と期待する。問い合わせは同社内の事務局（045・441・2011）へ。
【武本光政】

2011年11月28日（月）毎日新聞朝刊 神奈川県版